

\*\*2016年12月改訂 (第9版)

\*2016年4月改訂

貯法 密封容器、室温保存

承認指令書番号 15消安第1514号



## 動物用医薬品

性腺刺激ホルモン放出ホルモン誘導体制剤

要指示医薬品 指定医薬品

動物用 **イトレリン**® 注射液

VETERINARY ITORELIN® INJECTION

### \*\*【本質の説明又は製造方法】

本剤の主成分であるブセレリン酢酸塩は、性腺刺激ホルモン放出ホルモン (GnRH) の誘導体で、下垂体前葉からのLH (黄体形成ホルモン) 及びFSH (卵胞刺激ホルモン) の放出を刺激し、牛の繁殖障害の治療に効果があります。

### 【成分及び分量】

品名	動物用イトレリン注射液
有効成分	ブセレリン酢酸塩
分量	1バイアル (10mL) 中 ブセレリン酢酸塩42 $\mu$ g (ブセレリンとして40 $\mu$ g)

### 【効能又は効果】

牛の卵胞嚢腫、卵胞発育障害 (卵巣静止)、排卵障害の治療

### 【用法及び用量】

牛：1回1頭当たり2.5~5.0mL (ブセレリンとして10~20 $\mu$ g) を筋肉内に注射する。

### \*\*【使用上の注意】

#### (基本的事項)

#### 1. 守らなければならないこと

##### (一般的注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能又は効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法及び用量を厳守すること。

##### (取扱い及び廃棄のための注意)

- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- ・開封後は速やかに使用すること。
- ・期限を過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・食品と区別して保管すること。

・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

### 2. 使用に際して気を付けること (使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者 (誤って薬剤を飲み込んだ場合) は、直ちに医師の診察を受けること。

### (牛に関する注意)

- ・本剤投与により副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

### (専門的事項)

#### ①相互作用

- ・他剤との配合は、禁忌、副作用が不明なため避けること。

### 【使用期限】

3年 (個装箱、ラベルに表示)

### 【包装】

1バイアル10mL 1本

### \*\*【製品情報お問い合わせ先】

あすかアニマルヘルス株式会社  
〒108-0023 東京都港区芝浦二丁目15番6号  
TEL: 03-5439-4188



発売元\*

あすかアニマルヘルス株式会社  
東京都港区芝浦二丁目15番6号



製造販売元

ILS株式会社

茨城県守谷市久保ケ丘一丁目2番地1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。